

各 位

唐津農林事務所東松浦農業振興センター長

## 稲作情報第5号（普通期水稻）

### 1. 気象概要（アメダス：唐津地点）

月	半旬	平均気温 (°C)		最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)	
		平年	R6	平年	R6	平年	R6	平年	R6	平年	R6
7	1	24.7	<b>27.8</b>	28.0	<b>31.1</b>	22.2	<b>25.4</b>	87.3	<b>93.5</b>	15.2	<b>28.3</b>
	2	25.3	<b>29.3</b>	28.7	<b>32.7</b>	22.8	<b>26.8</b>	92.9	<b>7.0</b>	19.9	<b>39.4</b>
	3	26.0	<b>24.7</b>	29.6	<b>28.1</b>	23.2	<b>22.8</b>	74.1	<b>110.5</b>	26.4	<b>6.0</b>
	4	26.6	<b>28.9</b>	30.5	<b>33.3</b>	23.6	<b>25.6</b>	45.1	<b>14.0</b>	31.7	<b>36.4</b>
	5	27.3	<b>29.6</b>	31.4	<b>35.0</b>	24.3	<b>26.3</b>	26.5	<b>13.5</b>	35.6	<b>48.3</b>
	6	28.0	<b>29.5</b>	32.2	<b>34.5</b>	24.9	<b>25.7</b>	24.5	<b>10.0</b>	47.6	<b>63.3</b>
8	1	28.3	<b>30.4</b>	32.5	<b>36.2</b>	25.0	<b>26.6</b>	20.9	<b>0.0</b>	41.3	<b>54.2</b>
	2	28.2	<b>29.5</b>	32.3	<b>34.6</b>	25.0	<b>25.8</b>	26.8	<b>0.0</b>	39.4	<b>60.5</b>

7月25日の梅雨明け後、晴天が続いており、降水量が少なく、日照時間が長くなっている。気温が高く猛暑となり、今後も高温乾燥状態が続くと見込まれるので水管理等に注意する。

### 2. 生育状況（調査日：8月13日）

品種 設置場所	年次	出穂日	止葉葉位	概要
夢しずく 唐津市相知 町伊岐佐 6/12 移植 標高 70m	本年値	8月10日	12.7	出穂は平年より3日早くなった 止葉葉位は+0.4となった
	平年値	8月13日	12.3	
	平年比	-3日	+0.4	

項目 品種 設置場所	年次	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	主幹 出葉数 L	葉色 SPAD	概要
さがびより 唐津市相知町 相知 6/20 移植	本年値	69.7	473	13.8	35.3	・草丈は低い ・茎数は平年並み ・出葉はやや遅い ・葉色は平年並み
	平年値	77.2	451	14.3	35.5	
	平年比	90	105	-0.5	-0.2	

### (1) 山間早植え

山間早植えの「コシヒカリ」は糊熟期となり、登熟は順調に進んでいる。  
 高温乾燥のため中干し以降、水が全体に行きわたらない圃場も見受けられる。  
 8月13日のコシヒカリ作況圃の調査ではウンカ類は確認できなかった。

### (2) 普通期水稻

#### ・「夢しずく」

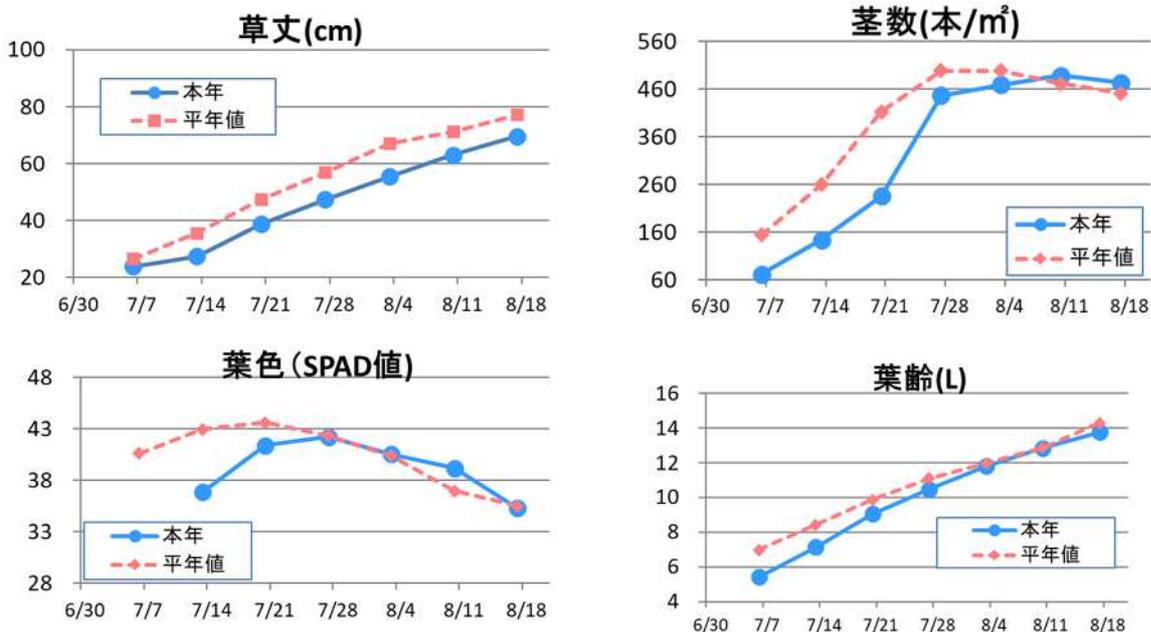
作況圃の「夢しずく」は8月10日に出穂期となった。(平年より3日早い)  
 「夢しずく」の出穂は平年より早く、早植えの「夢しずく」は穂揃い期から乳熟期と  
 なっている。

#### ・「さがびより」

草丈は低く推移している。茎数について生育前半は日照不足により平年と比較して少  
 なく推移していたが、天候の回復に伴い分けつ茎の発生も旺盛となり、充実した茎が  
 平年並み以上確保できた。

8月13日の夢しずく、さがびより作況圃の調査ではウンカ類は確認できなかった。

### ◎「さがびより」作況圃の生育グラフ(相知町相知)



### 3. 今後の管理

#### (1) 山間早植え

##### 1) 栽培管理

- ・登熟期後半となるので子実の充実のため、間断灌水により根の活力維持を図る。
- ・本年は高温乾燥により、中干し以降水が十分に溜まらない圃場も見受けられるので、そのような圃場では全体に水が行きわたるように努める。

##### 2) 病虫害管理

- ・「穂いもち」が見られる場合は、地域の栽培暦に従って速やかに防除を行う。  
ただし、登熟期後半になっているので使用時期の収穫前日数に注意する。
- また、特別栽培認証制度を申請した圃場では、農薬成分カウント数に注意する。
- ・本年はトビイロウンカの飛来が連続しており、多発生が懸念される。発生予察情報を参考に、圃場の発生状況を確認して適期防除に努める。

#### (2) 普通期水稻

##### 1) 栽培管理

- ・「夢しずく」は出穂前となる、出穂期から穂揃い期は開花し受粉を行うため、イネの一生の中で最も水を必要とする時期となる。  
出穂期から穂揃い期は圃場の水を切らさないよう管理に努める。
- ・「さがびより」は中干しが済んだ圃場から間断灌水に移行する。
- ・梅雨明け以降、高温乾燥が続いている。深い亀裂が入り、土壌が白乾するほどの強い中干しは、断根につながるため、中干しの強度は、軽く足跡がつく程度の黒乾燥状態を保つ程度とする。

##### 【中干しの目的】

- ① 無効茎の発生防止や下位節間の伸張防止
- ② 窒素制限による生育量の適正化
- ③ 有害物質の除去及び土壌酸化による根の健全化
- ④ 地耐力を高め倒伏を防ぐ

##### 2) 「さがびより」、「ヒノヒカリ」穂肥診断

「さがびより」は穂肥施用の時期となっている、幼穂長を確認して穂肥診断基準に基づいて穂肥を施用する。

「ヒノヒカリ」でまだ穂肥を施用してない場合は穂肥診断基準に基づいて早急に穂肥を施用する。

### ① 「ヒノヒカリ」の穂肥診断基準

必要以上に籾数を付け過ぎない診断が必要

幼穂形成 始期草丈	葉色		施用時期		施用量
	群落	SPAD	出穂前	幼穂長	窒素成分 kg/10a
80cm 以 下	3.0 以下	34 以下	25-23	1-2mm	3.0
	3.0-3.3	35-38	22-20	3-5mm	3.0
	3.5-3.8	39-40	20-16	5-15mm	2.0
	3.8 以上	40 以上	16-12	15-30mm	1.0 以下
80cm 以 上	3.0-3.3	35-38	22-20	3-5mm	2.0
	3.5-3.8	39-40	20-16	5-15mm	1.5
	3.8 以上	40 以上	16-12	15-30mm	1.0 以下

草丈は幼穂形成始期(1mm)を基点に前後1日当たり1cm増減する。

### ○ヒノヒカリ出穂前日数と幼穂伸長

出穂前日数(日)	主稈の幼穂長(mm)	
-23~-20	1~3	←幼穂形成始期
-20~-18	3~5	←穂肥施用時期の目安
-18~-12	5~80	
-12~-10	80~100	
-7~0	100~200	

### ② 「さがびより」の穂肥診断基準

早過ぎる穂肥は籾数の過剰につながるので注意する。

幼穂形成 始期草丈	葉色		施用時期		施用量
	群落	SPAD	出穂前	幼穂長	窒素成分 kg/10a
75cm 以下	3.0 以下	33 以下	20-18	5mm	3.0
	3.0 -	33-37	18-17	10mm	3.0
	3.3 -	37-38	17-16	15mm	2.0
	3.5 -	37-38	17-16	15mm	2.0
75 ~ 80cm	3.8 以上	39 以上	施用しない		
	3.0 -	36 以下	18-16	10~15mm	1.5
	3.3 -	36 以下	18-16	10~15mm	1.5
80cm 以上	3.5 以上	37 以上	施用しない		
80cm 以上	施用しない				

草丈は幼穂形成始期(1mm)を基点に前後1日当たり1cm増減する。

○さがびより出穂前日数と幼穂伸長

出穂前日数(日)	主稈の幼穂長(mm)	
-22	1	← 幼穂形成始期
-20～ -18	3～5	
-18～ -16	10～15	← 穂肥施用時期の目安
-16～ -12	5～ 80	
-12～ -10	80～100	
-10～0	100～200	

3)病害虫・雑草管理

・置き苗はいもち病の発生源となるため早急に撤去する。

特に上位葉に病斑がある場合は穂いもちが懸念されるので出穂前の防除を行う。

なお、特裁申請している圃場では農薬成分カウント数に注意する。

・本年はトビイロウンカの連続した飛来が見られた。8月13日の調査ではウンカ類は確認できなかったが、今後の発生に注意する。防除にあたっては、発生予察情報を参考とし、ほ場の発生状況を確認して適期防除に努める。防除を行う場合には湛水をするとともに、株元まで薬剤が十分にかかるように散布する。

・地域によってはコブノメイガが発生している圃場が見られる。発生予察情報を参考として圃場での発蛾最盛期(成虫発生盛期)を確認し、その1週間後に防除を行う。

・カメムシ類の発生は多い、耕種的防除として出穂10日前までには畦畔の草刈りを終える。出穂直後に草刈りを行うとカメムシ類が圃場に侵入し、被害を助長するので注意する。

薬剤防除は、乳熟期(穂ぞろい期の約10日後)の防除を徹底し斑点米の被害防止を図る。

# イネウンカ類・コブノメイガのトラップ捕獲状況

海外飛来性害虫情報第9号(ウンカ類・コブノメイガのトラップ捕獲状況) (令和6年8月13日更新)

月	日	トビイロウンカ					セジロウンカ					コブノメイガ						
		佐賀県		長崎県			佐賀県		長崎県			佐賀県			長崎県			
		佐賀市	嬉野市	諫早市	諫早市	諫早市	佐賀市	嬉野市	諫早市	諫早市	諫早市	佐賀市	佐賀市	神埼市	伊万里市	白石町	武雄市	諫早市
ネット トラップ	ライト トラップ	ライト トラップ	ネット トラップA	ネット トラップB	ネット トラップ	ライト トラップ	ライト トラップ	ネット トラップA	ネット トラップB	フェロモン トラップA	フェロモン トラップB	粘着トラップ (20W蛍光灯)	粘着トラップ (20W蛍光灯)	粘着トラップ (20W蛍光灯)	粘着トラップ (20W蛍光灯)	フェロモン トラップA	フェロモン トラップB	
6月	1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	19日	0	1	0	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20日	0	3	0	0	0	10	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	21日	0	8	0	0	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
	22日	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	23日	0	24	0	0	0	25	66	8	1	1	0	0	0	0	0	10	0
	24日	0	14	0	0	0	13	92	5	0	2	0	0	0	0	0	18	0
	25日	0	1	0	0	0	0	148	1	0	0	0	0	0	0	0	25	3
	26日	0	9	0	0	0	0	187	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0
	27日	0	3	0	0	0	2	8	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1
	28日	0	7	0	0	0	0	30	4	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	29日	0	4	0	0	0	3	31	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	30日	0	13	0	2	0	15	5	0	3	0	0	0	0	0	0	2	0
7月	1日	0	229	0	0	0	14	88	0	1	0	0	0	0	0	0	2	3
	2日	0	41	0	0	0	0	97	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2
	3日	1	欠測	0	0	0	1	欠測	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	4日	0	5	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	5日	0	0	0	0	0	5	9	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0
	6日	0	0	0	0	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1
	7日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	8日	0	1	0	0	0	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	10日	0	2	0	0	0	1	252	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1
	11日	0		0	0	0	0		106	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12日	0		0	0	0	0		33	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	13日	0	3	0	0	0	0	933	232	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14日	0		0	1	0	0		70	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15日	0		0	0	0	0		17	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	16日	0	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	17日	0	0	0	0	0	0	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18日	0	0	0	0	0	0	35	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	19日	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	20日	0	0	0	0	0	0	4	9	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	21日	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	22日	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	24日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	25日	0	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	26日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
	28日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0
	29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2
	30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	5	2
	31日	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3	1

注1)ウンカ類:佐賀市のネットトラップは、農業試験研究センターで調査(回収日で集計)。嬉野ライトトラップ(予察灯)は農業技術防除センターで調査。

7月11~15日の嬉野ライトトラップは、装置の不具合により5日間の合算値。

注2)コブノメイガ:神埼市、白石町、伊万里市、武雄市は防除員が調査。佐賀市のフェロモントラップは農業試験研究センターで調査。

※長崎県のデータは、長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室提供。

※7月中旬以降トビイロウンカの飛来は無い

# トビイロウンカ発生予測（佐賀県農業技術防除センター情報を改編）

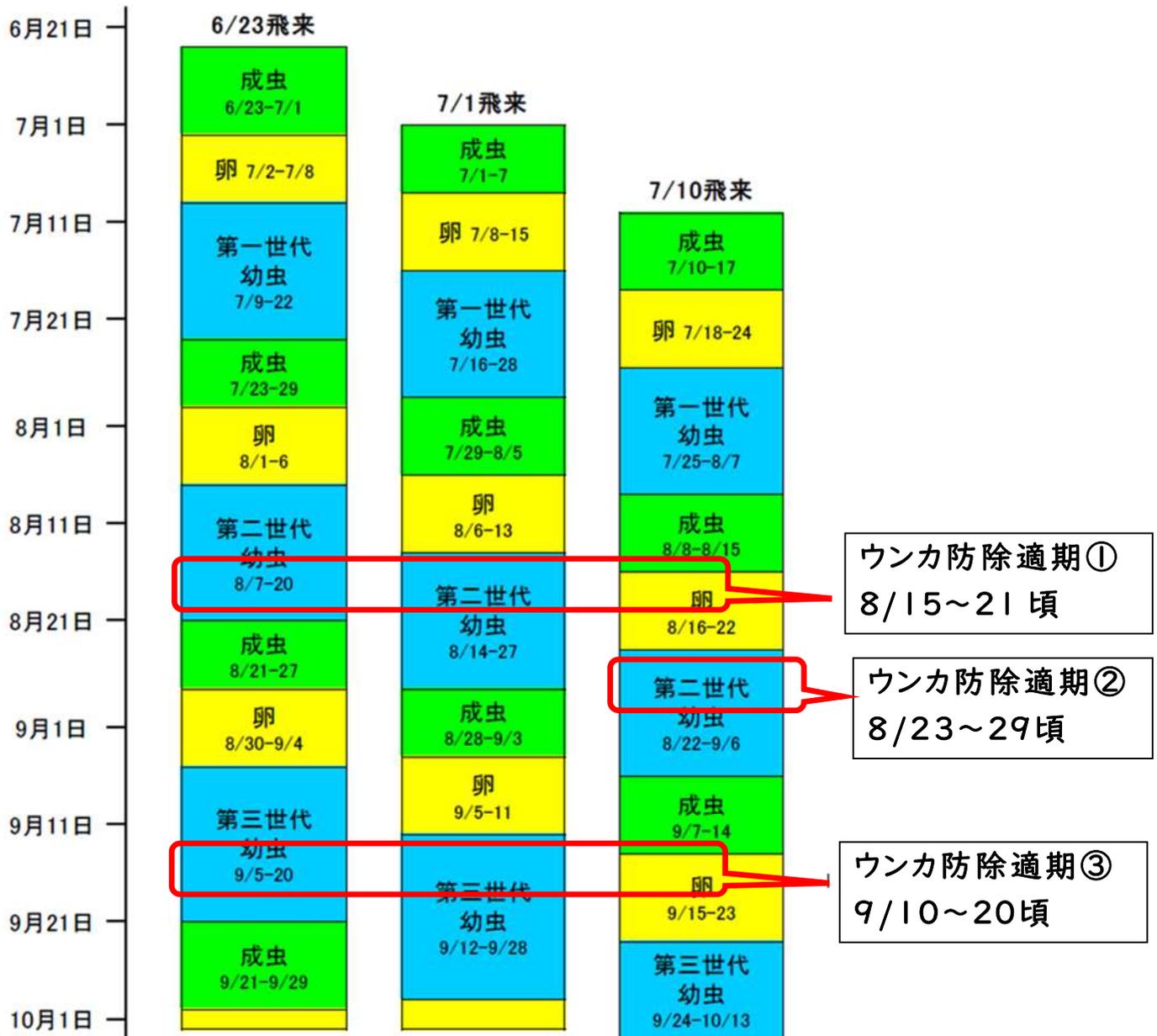


図1 トビイロウンカ各世代の発生予測（第2版、2024年7月19日作成）

1. 6月23~24日頃(図では6月23日)、7月1~2日(図では7月1日)、7月10~11日(図では7月10日)の飛来虫を起点とし、トビイロウンカの有効積算温度及び佐賀市川副町のアメダスデータ(7月19日以降は平年値)に基づき作成した。
2. 田植え時期、品種等の違いによって、本虫の発生量は異なるので、必ず圃場ごとの発生状況を確認したうえで、防除対策を講じる。
3. 今後の気象経過等に応じて、本図は随時、更新するので、最新情報は、農業技術防除センターのホームページで確認する。

# コブノメイガ発生予測（佐賀県農業技術防除センター情報を改編）

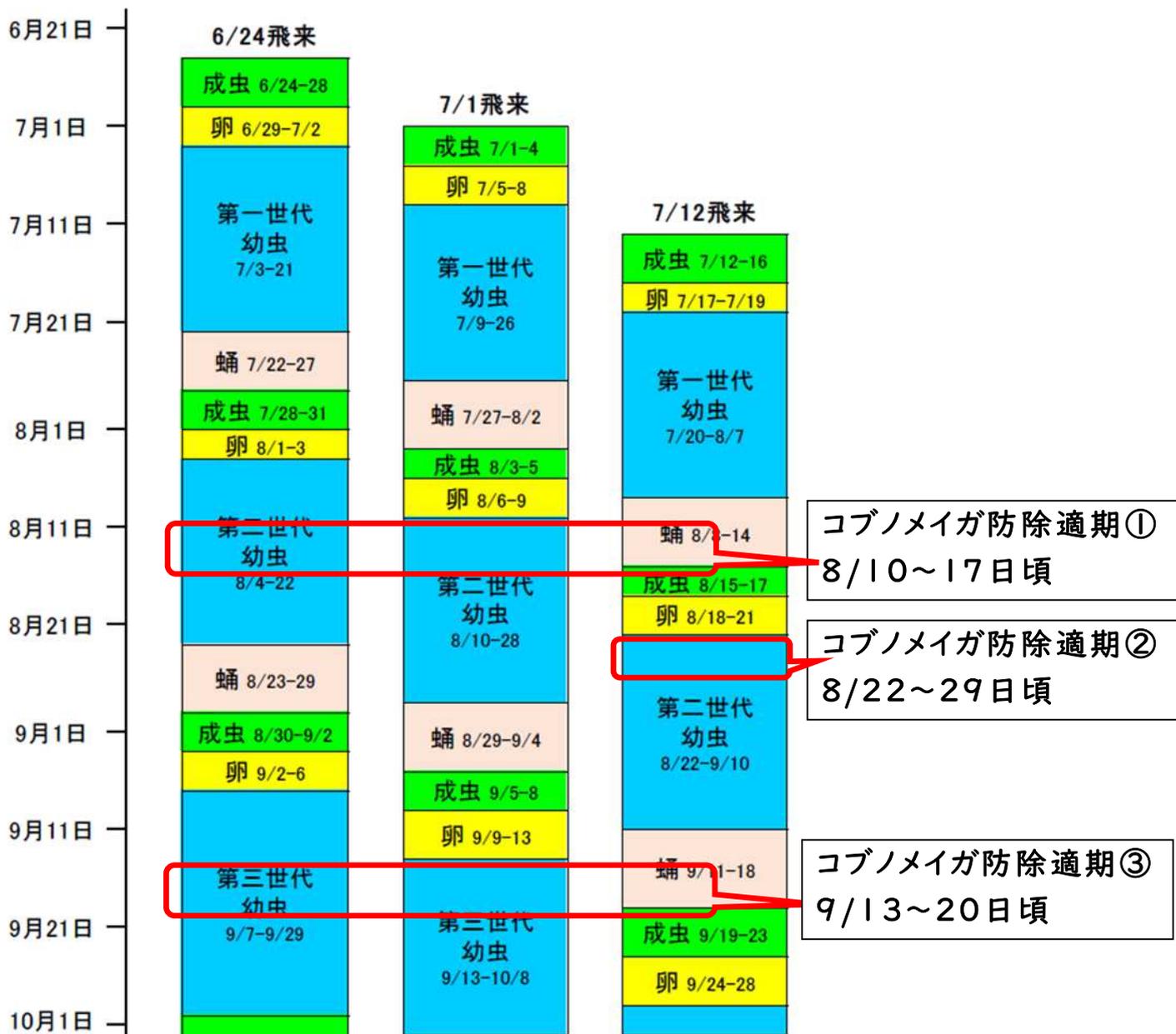


図2 コブノメイガ各世代の発生予測（第2版、2024年7月19日作成）

1. 6月24~27日頃（図では6月24日）、7月1~3日頃（図では7月1日）、7月12~15日頃（図では7月12日）の飛来虫を起点とし、コブノメイガの有効積算温度及び佐賀市川副町のアメダスデータ（7月19日以降は平年値）に基づき作成した。
2. 田植え時期、品種等の違いによって、本虫の発生量は異なるので、必ず圃場ごとの発生状況を確認したうえで、防除対策を講じる。
3. 今後の気象経過等に応じて、本図は随時、更新するので、最新情報は、農業技術防除センターのホームページで確認する。

# 令和6年産 稲作期間気象図

## アメダス観測値 (唐津)

東松浦農業振興センター

